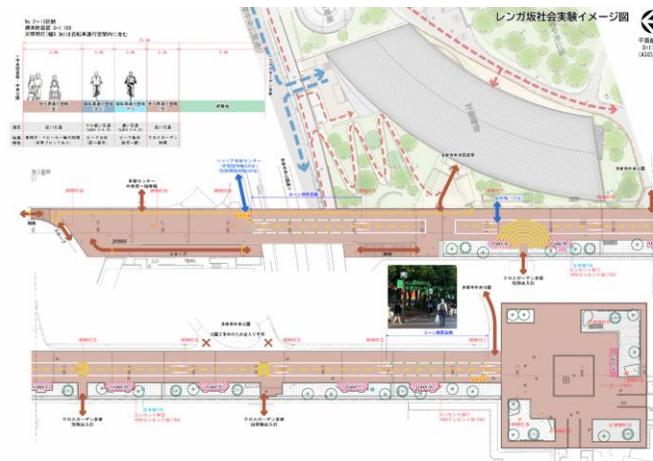


遊歩道の通行のあり方(第1回)

KEY WORD #多摩ラボ#まちづくり#遊歩道#通行



| | |
|------|---|
| 開催日時 | 2024年1月31日(水) |
| 場所 | パルテノン多摩4階 会議室3 |
| 募集人数 | —(特に規定なし) |
| 参加方法 | 専用フォームで申込み |
| 内容 | 10月ワークショップと社会実験のうち、通行に関する内容について振り返りを実施。 次回の社会実験の内容は決め打ちせず、率直な感想や提案が飛び交う時間となりました。 |

当日のタイムスケジュール

- 18時半～テーマ別ワークショップの説明(植栽ます、遊歩道の通行)
- 18時45分～過去の市民アンケートや10月社会実験の説明
- 19時15分～アイデア共有・意見交換
- 20時頃 終了

Point! なぜ、「遊歩道の通行」を検討?

多摩センター駅周辺には多くの遊歩道(自転車歩行者専用道路)が存在し、まちの魅力の一つとなっています。通行の安全を確保することは、遊歩道の空間を盛り上げていくために必要な土台であると考えています。

当日出た主な意見

自転車と歩行者の安全に課題(スピード抑制、通勤通学時間帯)通行区分により自転車「専用」レーンという誤解が危険を招く

↓今後に向けて↓

ゾーニングと障害物による減速という観点

設置方法として、自転車が一直線にスピードを上げていかないように不規則に配置する案や、一旦降りないとすり抜けられないような案など

歩行者が縦横に移動することで自転車が減速し、朝は皆が同じ方向に向かうのでスピードが出やすいという意見も。

自転車レーンの是非は、線を引くことよりゾーニングの是非ではないかという意見

道路空間の印象という観点

ほのぼのしたイラストやBGMで、トラブル防止。
フットライトで雰囲気づくりと視認性向上。
公園、図書館、ベンチのあるスペースの「広がり感」に期待。

これまでの流れ

10月の社会実験には、これまでのワークショップに参加した方のうち複数名がボランティアに協力いただきました。

その後、ボランティア参加者を中心としたフィードバック会を行い、まちのついかい方や滞留空間・通行の等さまざまなまちのテーマを考えてみる“場”が定期的であり、テーマや枠組みがわかりやすいと関わりやすいとの意見がありました。

そこで、テーマ別ワークショップを水曜日の夜実施する試みをスタートしました。